

川俣町

農業委員会より

第20号

平成28年3月22日

川俣町農業委員会

川俣町字五百田30

☎566-2111

平成二十八年度 川俣町農業施策に関する建議

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故から六年目に入りました。我が町の農業の災害からの復旧復興は、我々農業者にとってほど遠く感じられます。また、T

PPの問題は、本町農業に多くの打撃や町民、国民の食の安全、安心が壊される心配などが危惧されます。さらには放射能により農地が汚染され農作物等の風評被害も拡大し、農業への意欲が大きく低下し、本町の農業は危機的状況にあります。

建議項目

本町農業委員会は、この危機的状況を踏まえ、昨年十二月二十一日、町に対して、平成二十八年度の農業施策に必ず取り組むよう建議書を提出しました。

一、原発事故からの復旧・復興への施策

一、「山木屋地区」及び全町内の農地除染廃棄物を早急に中間貯蔵施設に移送すること。

二、安全な農林産物の放射能対策について農地の放射能の再測定を実施し、公表すること。

二、総統的施策

一、TPP（環太平洋経済連携協定）大筋合意の交渉参加撤回の働きかけについて

にし、すべてが国民のためにならなければ批准しないよう国に働きかけること。

大筋合意の内容を国会などに明確にすること。

日本型直接支払制度の確立を図ることとし、事務処理は町で行うこと。

二、担い手の育成確保・集落営農推進対策について

新規就農者に対する月十五万円を三年間助成し後継者の育成を図ること。（国・県ですべて賄うことを要望すること）

青年就農給付金を創設すること。

三、認定農業者の育成

農業の六次産業化を推進し、農産物加工施設の建設、新規商品の開発等の担当部を設置し、農業収入の向上を図ることができる環境づくりを関係機関と連携を図り推進すること。

四、女性農業者への取り組み

町内すべての狩猟者への狩猟税に対する金額助成をすること。

五、鳥獣被害対策の強化について

町内すべての狩猟者への狩猟税に対する金額助成をすること。

六、耕作放棄地対策の実施

耕作放棄地の農地再整備や整備後の活用を支援する施策を講じるとともに耕作放棄地となるおそれがある農地の利用促進が図られるよう支援策を講じること。また、耕作放棄地を山に戻す取り組みに対しても支援を行うこと。

七、環境保全対策の取り組みについて

遊休農地に対する増税に反対すること。

八、農業生産支援対策について

行政の責任において、仮置き場の除染廃棄物を早急に中間貯蔵施設に移送するよう強く国に働きかけること。

九、原発による山木屋地区避難住民の対策について

行政の責任において、仮置き場の除染廃棄物を早急に中間貯蔵施設に移送するよう強く国に働きかけること。

十、農業委員会及び事務局体制について

農業委員会の体制の整備・強化について

二、都道府県農業委員会ネットワーク機構の体制強化について

第六十回 福島県下農業委員大会

◆ 担い手を育成・確保し本県農業の復旧・復興に繋げよう！

◆ 国民の「食」と「暮らし」、「地域」を守る運動を展開しよう！

◆ 農業者の視点に立った農業委員会活動を展開しよう！

◆ 経営発展に全国農業新聞・全国農業図書を活用しよう！

農業委員大会が昨年十一月五日福島市飯坂町「パルセいいざか」で開催され、本町農業委員十四名が参加いたしました。

四、農業者年金の加入推進について

五、情報活動の一層の推進に向けて

四議案は、原案通り議決承認され、最後に・大会宣言決議が読み上げられ、満場一致で採決、全員でがんばろう三唱をして閉会しました。

三、農地の有効利用と利用集積について

四、農業委員並びに農地利用最適化推進委員の確保等について

二、政策提案の展開について

三、農地の有効利用と利用集積について

新しい農業委員会法の下での活動推進に関する申し合わせ決議について

議案第四号

第60回 福島県下農業委員大会



遊休農地現地調査 実施報告



農業委員会では、昨年の十二月九日に農地法三十条によります農地利用状況調査を行いました。概況は、改善されている農地はあるものの、半面、利用されていない農地が増加しており、今回の調査も活用し今後とも耕作放棄地の解消に取り組んでまいります。

農業委員会視察研修を終えて

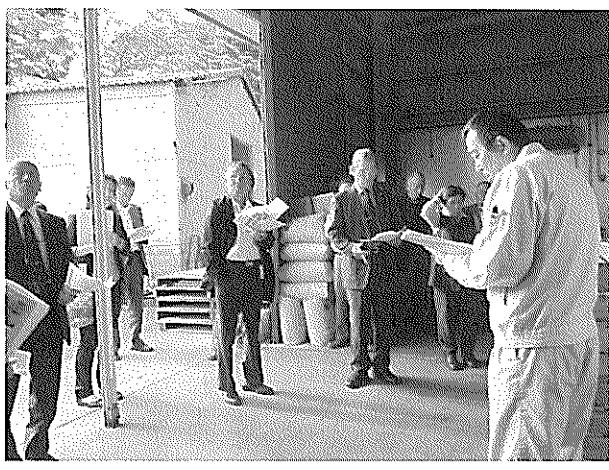
雑穀栽培の取り組みについて岩手県軽米町農業委員会を訪れました。軽米町到着後、早速「ミルみるハウス」を訪れて雑穀料理の昼食を取り、施設内の加工食品等を視察し、軽米町役場で農業委員の方々の雑穀の取扱い組みについて説明を聞きました。

軽米町は飼料米の生産をはじめ、葉たばこ、ホップ、肉牛の生産が盛んあります。

寒冷地で水稻栽培に適さなかつた

ため、昭和三十年代までは確実に収穫できるヒエ、アワ、ソバ、大豆などの自給畑作農業による輪作が中心であった。近年（平成）健康食材として雑穀類が人気を集め、軽米町を含め二戸地域では三百名の雑穀生産者がヒエ、アワ、イナキビ、アマラントス、タカキビ、エゴマ等多種類の雑穀の生産に取り組んでいます。

更には「おいしい雑穀料理伝え隊」等を組織し、レシピの開発を進め、健康づくりと食育の推進を図り、道の駅をはじめとする多くの場所で雑穀料理と加工食材の販売、インターネットによる販路拡大に取り組んでいます。



平成二十七年水稻作況調査報告

農業委員会では、昨年九月二十四日に例年通り水稻作況調査を行いました。調査方法は、平年作と比較できるように定めてあります定点圃場を中心に、全地区十五圃場と合わせて山木屋地区は試験作付圃場の状況を調査いたしました。作柄状況は、八月上旬までは平年よりも好天に恵まれたものの開花期以降から登熟期までの期間が天候に恵まれなかつたために、圃場によって実入りにばらつきが大きかつたので、集計の結果は前年よりわずかに低い約四〇一キロの反収となりました。



農業委員会では、耕作放棄地の解消に伐根搬出等に取り組んでいます。交流会後、晴山雑穀センターを視察し、二戸地域ブランド認証基準を定めて取り組んでいること、作付面積については、その年のニーズに合ったものを決めて作付けをしていること、米と同等の収入を目指しているが、現実は厳しい状況にあることでした。二日目は小坂鉱山事務所を見学、道の駅「こさか七滝」に立寄り帰郷したことでした。

農業委員会では、耕作放棄地の解消に伐根搬出等に取り組んでいます。交流会後、晴山雑穀センターを視察し、二戸地域ブランド認証基準を定めて取り組んでいること、作付面積については、その年のニーズに合ったものを決めて作付けをしていること、米と同等の収入を目指しているが、現実は厳しい状況にあることでした。二日目は小坂鉱山事務所を見学、道の駅「こさか七滝」に立寄り帰郷したことでした。



川俣町認定農業者との意見交換会

一月二十日に認定農業者との意見交換会を開催しました。会長より一月十八日の大雪被害の報告や、TPPの行方などの話を皮切りに開かれました。まず認定農業者の方から、イノシシ被害の甚大な事や、認定農業者で獣友会事務局の方からは、平成二十七年度の捕獲頭数が五百十頭であった事など、報償金、獣友会会員の減少、高齢化などの説明を受けました。防衛策として事務局長より電気牧柵、イノシシ用ワイヤーメッシュの経費など、県、町の助成金内訳が説明されました。しかし作物、地域、業種により対処の仕方考え方方に誤差が見えました。

また国、県が農業重視との政策のなかで、後継者にメリットのない物ばかりであるとの意見もありました。



ボリエースアル培地を用いた花卉・野菜栽培の説明会

これからの施設栽培として、土を使わず病害虫にかかりにくいハウス栽培についての説明会が、十一月二十七日に「おじまふるさと交流館」（旧小島小学校）で開催され、町内花卉栽培農家の方々や農業委員が多数参加しました。

栽培方法について近畿大学の先生から説明を頂きました。アンスリウム

栽培となるため暖房と散水を行って栽培されていました。これから、東京オリンピックなどにも需要が見込まれる花とのことです。

栽培方法について近畿大学の先生から説明を頂きました。アンスリウムは南の方の花で一度植えると約五年間は植替えをしなくてもよく、二年目から花を収穫することが出来るそうです。葉と花の形が似ており、最近、色々なアレンジメントに使われ、人気のある高級花のことです。

栽培となるため暖房と散水を行って栽培されていました。これから、東京オリンピックなどにも需要が見込まれる花とのことです。

栽培方法について近畿大学の先生から説明を頂きました。アンスリウムは南の方の花で一度植えると約五年間は植替えをしなくてもよく、二年目から花を収穫することが出来るそうです。葉と花の形が似ており、最近、色々なアレンジメントに使われ、人気のある高級花のことです。

日本は食品添加物や残留農薬が今よりも、中には十倍もゆるくなるものも出て来る。このTPPの問題は国内では国会でこれから条約の中味など農業者や国民のために詳しい論議されるよう願いたい。

菅野宗義
菅野時雄
菅安田源吉
菅野吉人

あとがき

定例農業委員会開催日の変更について 毎月20日から18日に変更になります

平成28年度の定例農業委員会開催日につきましては、川俣町行事予定カレンダーにてご案内させていただきましたが、農地法改正により農地転用許可事務の仕組みが改正されたため、委員会の開催日を、毎月20日から18日（土日祝日や、その他理由により変更になる場合があります）に変更させていただきますので、大変申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願いいたします。